

2021年12月28日

市川市長 村越祐民様

日本共産党市川市議団
代表 清水みな子
日本共産党市川浦安地区委員会
地区委員長 桜井雅人

本会議の質問に対しての市長発言への抗議文

さて、12月13日の越川雅史議員（無所属の会）の一般質問に対して、村越市長は「現状の姿勢を鑑みますと、まさに、共産党市議団の皆さんは、あくまで教条主義に基づいて、反対のための反対を貫いておられる」と述べ、事実に基づかない発言であり抗議する。共産党市議団は、反対のための反対ではなく、反対の際には、反対理由をきちんと議場で述べている。

また、「この間、越川議員とともに共産党会派の皆さんは、何かといえば、すぐに警察に相談せよと言っている。物事の本質をずらしている」とも述べている。越川議員に対して市長は「共産党のどこそこの支部が賛成しているから、賛成しなさい、と議場で発言した」と述べたが、調査した結果、「越川議員がテスラ社公用車の導入の問題を、共産党市議団の見解を述べたにすぎない」ことが明らかになった。このように、根拠も示さずに、議場で発言を繰り返している。二元代表制を逸脱した行為にはほかならない。

日本共産党市議団は、市民の立場から良いものには賛成し、市民のためにならない議案等にはキッパリと反対を貫いている。村越市長の発言は、公党である日本共産党を侮辱するものであり、公の場で、発言根拠を示し、発言の撤回と謝罪を求めるものである。

以上